

# HR事業の海外展開強化

## シンガポールに現地法人 近く設立

### エフエスアイ ネット

ITインフラ事業を手掛けるアイエスエフネット（東京都港区）は、IT技術者の採用や育成を支援するヒューマン・リソース（HR）人的資源）事業の海外展開を強化する。9月にもシンガポールに現地法人を設立する予定。注力するクラウド、ネットワーク、セキュリティの3分野に精通する技術者の調達ニーズが世界的に高まる中、デジタル先進国としての存在感も高める同国への進出を決めた。

デジタルトランスフォーメーション(DX)は「ITインフラエンジニア」の派遣サービスに注力している。同社には、ITインフラに関する高いスキルを備えた2000人以上の技術者が正社員として在籍。こうした強みを生かし、プロジェクトの規模や特性に応じて、顧客のニーズに応じて必要な技術者を編成して顧客企業に送り込んでいる。技術者が海外展開を強化しよう

と、シンガポールに現地法人を設置するための準備を進めている。既に韓国と中国では、人材確保から業務の請け負いまでを現地で100%行える体制を構築しており、この実績を土台にシンガポールに進出する。

シンガポールは数多くの多国籍企業が集積するハブ（中核）拠点で、同国を足場に世界で活躍したいと考える人材も増える方向にある。今後5年程度でアジアの技術者調達ニーズに応える体制を拡充したいと考えて、ベトナムへの進出も視野に入れている。

同社の渡邊幸義社長にHR事業の海外戦略について聞いた。

——海外展開を強化する狙いは。

**渡邊氏** 優れた人材のデータベースからの確な技術者を選んで顧客企業



## 総売上高の海外比率 3割に引き上げたい

にマッチングさせ、顧客が抱えるITインフラの課題を迅速に解決すると、という「エンジニアのプラットフォーマー」を目指している。そうしたニーズを取り組みをグローバルに占める海外比率を約3割に引き上げたい。

——シンガポールを選んだ理由は。

**渡邊氏** 理由の一つがアジア経済のハブである点。シンガポールには地域統括拠点が集積しており、そこを足場に各国で

だ。常に新しい技術を学んで活躍したい人材の熱意に応える環境づくりが求められるだろう。

——働きやすい環境づくりにも意欲的だ。

**渡邊氏** 2024年には兼業と副業を認め、25年には働き方を完全に自由化したい。雇用形態や立場に関係なく人間性を尊重しており、全員が「ファミリー」と考えて

アイエスエフネットの 渡邊社長

は、優秀な技術者にとって魅力を感じない。実際、上級のエンジニアは高い値段で海外の企業に引き抜かれている。シンガポールの給与は日本の倍を注いでいく。